

2019 年 2 月 22 日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

日立キャピタル株式会社のグリーンボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、日立キャピタル株式会社が発行するグリーンボンド⁽¹⁾（5 年債 100 億円）の引受けにおいて事務主幹事および Green Bond Structuring Agent⁽²⁾を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

日立キャピタルグループは、「2016～2018 年度 中期経営計画」にて環境・エネルギーを注力分野に掲げて、太陽光・風力等の再生可能エネルギー事業を推進しており、グリーンボンド発行により調達された資金は、日立キャピタルグループが発電事業者として運営する岡山県新見市の太陽光発電事業に充当される予定です。

本件グリーンボンドは適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、第三者評価として、世界的に実績のある ESG⁽³⁾評価会社であるサステイナリティクスからセカンドパーティオピニオンを取得しています。また、株式会社格付投資情報センター（R&I）よりセカンドオピニオン及び「R&I グリーンボンドアセスメント」の最上位評価である「GA1」の評価を取得しております。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、炭素クレジットやクリーンエネルギービジネスにおけるコンサルティングサービスの提供、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006 年に国連責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment) が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

債	券	名	：日立キャピタル株式会社第 77 回無担保社債(社債間限定 同順位特約付)(グリーンボンド)
取	得	格	付：A+ (R&I)、AA- (JCR)
年		限	：5 年 (2023 年 12 月 20 日償還)
発	行	額	：100 億円
利		率	：0.210% / 年
払	込	期	日：2019 年 2 月 28 日
主	幹	事	：三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、野村證券 株式会社、みずほ証券株式会社、S M B C 日興証券株式 会社、大和証券株式会社、B N P パリバ証券株式会社
Green Bond			：三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
Structuring Agent			

- (1) 本件グリーンボンドは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従ったものであり、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドパーティオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者
- (3) 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉

以上